

平成30年度 名寄市議会 「市民との意見交換会」実施報告

名寄市議会の活動状況を市民の皆さんにお伝えし、市民や市が抱える課題について意見を交換するため、昨年度から、議会報告会を2回開催してまいりましたが、今回からは「市民との意見交換会」と名称を改め、議会からの報告を最小限にとどめ、市民の皆さまとの意見交換を重視するよう心掛け開催させていただきました。

今回の意見交換会には全体で113名の方にご出席をいただきました。ご参加の皆さまからは、議会運営に対するご意見をはじめ、防災に関するご意見や、継続的な地域課題など、行政に対する要望等も多くいただきました。改めまして、ご参加をいただきました市民の皆さまに感謝とお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

お寄せいただいたご意見やご要望などに対しましては、議員間で情報を共有するため、12月3日に全議員参加による意見交換を行い内容の全体化を図ってきたほか、市政に対する要望については、内容を精査し、8項目について市長の見解を求めるべきと判断し、同月6日に、正副議長、議会運営委員会正副委員長から加藤剛士市長に文書で見解を求めてきたところです。

今議会の任期も残りわずかとなり、これまでの活動の成果をまとめ上げる時期に来ています。これからも議会全体が一体感を持ち「市民から信頼される議会づくり」に邁進するとともに、市民の皆さんの期待に応えるべく積極的な活動を行ってまいります。

今後も市議会の動向にご注視いただきますようお願い申し上げますとともに、「市民との意見交換会」等にご参加いただき、ご意見等をお寄せいただければ幸いです。



【実施概要】

今回の意見交換会は、4班体制とし、市内12会場で開催いたしました。

開催にあたり、議員自らが資料を作成するとともに、より多くの市民の皆さんにご参加いただくため、『議会だより かわら版』を作成し、公共施設に掲示するとともに、市内報道機関への記事掲載依頼、議会だより、市議会ホームページによる日程周知、さらには全議員が1人20枚の案内チラシを市民の皆さんに配布し参加を呼びかけました。また開催にあたり町内会長はじめ町内会の役員の方々にも周知にご協力いただきました。改めてご協力いただいたことにお礼申し上げます。

議会側からは、前回の報告会以降に開催された定例会の審議状況、各常任委員会の行政視察などについて説明をさせていただきましたが、できるだけ報告時間を短縮し、市民の皆さまとの意見交換や対話の時間を重視し開催させていただきました。

意見交換の主な内容としては、市民生活に関する意見・要望のほか、地域課題などの困りごとを中心に、議員定数や報酬、行政視察に対する意見など、議会運営に対する意見も多くいただき、改めて議会改革の必要性を認識したところです。

なお、出されたご意見やご要望については、議会だよりや市議会ホームページなどで市民の皆さんにお知らせいたします。



【班編成及び担当会場】

《A班》

班長 黒井 徹（議長）
班員 熊谷 吉正（市民福祉常任委員会委員長）
川口 京二（経済建設常任委員会副委員長）
塩田 昌彦（市民福祉常任委員）
山崎真由美（総務文教常任委員）

担当会場：10 区町内会館、豊西福祉会館、旭東福祉会館

《B班》

班長 佐藤 靖（副議長、総務文教常任委員）
班員 東 千春（総務文教常任委員会委員長）
高橋 伸典（市民福祉常任委員）
佐久間 誠（経済建設常任委員）
浜田 康子（市民福祉常任委員）

担当会場：西 12 区町内会館、麻生福祉センター、仲町集会所

《C班》

班長 山田 典幸（議会運営委員会委員長、総務文教常任委員）
班員 高野美枝子（総務文教常任委員会副委員長）
佐々木 寿（市民福祉、経済建設常任委員）
川村 幸栄（経済建設常任委員）

担当会場：名寄市総合福祉センター、砺波会館、徳田区福祉会館

《D班》

班長 奥村 英俊（議会運営委員会副委員長、経済建設常任委員会委員長）
班員 大石 健二（市民福祉常任委員会副委員長）
東川 孝義（経済建設常任委員）
野田三樹也（総務文教常任委員）

担当会場：南 5 区町内会館、新大橋会館、風連日進コミュニティセンター

【意見交換の主な内容】

各会場における意見交換の主な内容は次のとおりです。

A班－1 旭東福祉会館 参加8人

◆橋の老朽化について

問 名寄川にかかっている幕別橋の欄干が錆びていて老朽化が目立つ。穴が開く前に対策をお願いしたい。

答 橋については、長寿命化ということである程度の予算は持っている。地域の意見として理解していきたい。昨年から今年にかけて、240余りの橋についてドローンを使用して調査したと聞いている。順に対策がなされる予定である。

◆意見交換会班編成について

問 意見交換会の班編成の際には、身近に意見交換ができる気がするので、地元選出議員を配置してほしい。

答 地元議員は、日頃から声を聞いていると思われるので、今回は所属委員会毎に分けて配置した。

◆災害時の状況確認と木の伐採について

問 災害時には、河川敷の氾濫地域をよく見て危機管理をしっかりしてもらいたい。また、老木・古木が倒れることもある。公園で倒木が電線にかかるような所はないか、それもよく見てもらい事故等への対策を求める。

答 定期的に巡回等を行い、少しずつではあるが枝葉を払ったりしている。さらに注意をして、風害等に耐えられる対策が必要と認識している。

問 東8号線（昭和通）の柵の木の枝を切ったが、実を拾いに行くことができなくなった。道路や歩道が汚れるから切ってしまったのか。管理できないなら植えないほうがいいのか。

答 道路標識が見えなくなり危険な状況もあったため一般質問したこともある。剪定後は見通しが良くなっている。秋の落ち葉がひどい状況もあるので理解願う。

◆農福連携について

問 TPPやFTAなどアメリカとの関係で農業が大打撃を受けるのではないかと心配している。特に智恵文地区は現状の中で中国の方が来てくれないと運営できない実態もあると聞いている。農福連携の事例など教えてほしい。

答 名寄市でも4月に実行委員会が主催して「農福連携推進シンポジウム」が開催されている。具体的な取り組みはこれからであるが、一般質問の中で市民の動きに対し、行政としてバックアップしていくとの返答があった。

問 行政側が引っ張っていくというぐらいの気概が欲しい。

答 名寄市内の障がい者就労施設では、農家と連携し取り組みが進んでいるところもある。議会としても大切な課題と受け止めるが、施設と農家との連携が大切である。

◆ブラックアウトについて

問 9月のブラックアウトでは、名寄市でも様々な問題が起きたはずである。全体的

な責任の所在はどこにあるのか。行政として考え方をまとめ、実態を踏まえて一定の追及をすべきではないか。

答 名寄市では、宿泊キャンセル・食品廃棄・生乳被害等があり、概算で3,500万円程度の被害額があったとのこと。停電の原因追及や今後の対応などは北海道や北電レベルで進められていると認識しているが、具体的な報告は受けていない。対策に対する要望はしていかなければならないと認識している。

◆高見区の市営住宅について

問 高見区の市営住宅87戸中20戸が空室になっているなか、何故市営住宅を新築する必要があるのか。空室が多いと共同電気料の負担も増える。

答 市営住宅の建設は公営住宅等長寿命化計画に基づいて進められており、人口減少を考慮し徐々に減らしていく計画となっている。共同電気料の件については持ち帰り今後協議させていただく。

◆市立総合病院の駐車場について

問 市立病院の駐車場が狭い。市の収入増も期待し有料化する考えはないのか。

答 有料化の議論は以前から賛否両論出ている。意見は課題として持ち帰る。

◆除雪について

問 そよかぜ線は一部が1車線になってしまう。バス路線でもあるためしっかり除雪してほしい。また、東地区の排雪が遅くて困っている。

答 意見として市に伝える。

◆道路整備などについて

問 道路整備を行う際に事前連絡がなかったため生活に支障があった。また、舗装と未舗装の路線があるが、整備にあたっては優先順位だけでなく市民の意見も重視してほしい。

答 市民の声を聞くことは大切なことである。意見として理事者に伝える。

A班－2 10 区町内会館 参加6人

◆名寄市立図書館について

問 図書館が移動になるという話を聞いているが内容は。

答 総務文教常任委員会として図書館に関する協議はしているが、具体的な場所については提案していない。様々な地域を視察したが、図書館と別の施設を合わせた複合施設がよいと考えている。具体的には決まっていないが、名寄にふさわしい図書館を目指している。

◆なよろ温泉サンプラーについて

問 サンプラー温泉改修の話を聞いているが、改修の進捗状況は。

答 温泉については、いろいろな意見を伺っているが、今年度中に基本設計、次年度以降に実施設計から工事という想定をしている。経済建設常任委員会でも、市民の皆さんの意見を伺い、利用される皆様に満足いただける様な提案をしたいと考

えている。

◆健康の森について

問 よく利用をするが、柵が壊れていたり池の水も汚れている。芝桜も草だらけである。春先に行政と議会で視察を行ってはどうか。

答 持ち帰り市に意見を伝える。また、視察も実現できるように検討させてもらう。

◆名寄市営球場について

問 以前、全道シニア大会の際、大雨で名寄市営球場が使えず風連球場で開催した。水はけが悪いようだが整備や管理はどのようになっているのか。

答 水はけが悪くグラウンドが使用できない状況があったが、2年前に整備が行われ、かなり改善された。今後も計画的に改善をしていくよう訴えていく。

問 名寄で高校野球の地区予選が行われないのは施設の問題なのか。

答 施設設備が十分でない。必要なラバーフェンスが設置されていない。また、フェンスの高さなど、様々な基準があるため改修等を行えば実施可能となる。

◆老人福祉施設について

問 老人福祉施設に入所させたくても近隣の施設は入所困難な状況である。また、認知症だと入所が難しいようだが…。

答 市の地域包括支援センターが窓口となり情報を把握しているはず。施設に関しても市が実情を把握しているので、意見として伺い、相談状況についてどのようになっているか確認したい。

◆スポーツセンターについて

問 スポーツセンターとその周辺施設を総合的に活用できないものか。周辺には南プールやテニスコート、施設内にはトレーニングルームもあり、シャワールームや浴室的なものを整備するなど利便性を上げて全体を底上げするようなプランはないのか。

答 公共施設の管理計画もあり簡単にお答えはできない課題であるが、人口減少などを考慮すると施設の整理も必要な時代であり、効果的な投資をしていかなければならない。ご意見として伺い市とも協議していく。

◆ピヤシリスキー場について

問 山スキーを行っているが、ピヤシリの一部がシカの狩猟区域と重なっているため入山が出来ないようだが現状は。

答 夏は入山許可申請を行っているようだが、冬は行っていないと思う。改めて現状を確認する。

A班－3 豊西福祉会館 参加10人

◆公正・公平の観点から

問 住宅改修等推進事業補助金は、借家は対象外となっており不平等である。また、除雪対策では、市道上を雪捨て場に行っている方がいて、結果としてその雪は市が

排雪してくれることになる。雪を溜める敷地があれば、排雪ダンプ助成制度が受けられるが、雪を溜める敷地が無ければ、排雪ダンプ助成制度さえ受けられない。さまざまな面で不公平が生じている。

市立病院は待ち時間が長い。市民の税金を使っている病院なのに、市外の人が沢山治療に来て同じように診察を受けている。他の自治体からの負担はどうなっているのか。

答 市政運営においては、時代に即してできるだけ多くの市民の方が快適な生活を送れるようにする、まちの活性化を促すのが行政の役割と考える。その時々の方針により、全てが対象とはならぬこともあるが、ご理解をいただきたい。市立総合病院は周辺自治体とも協定を結び、地方センター病院として道北地域の医療を守ることも課せられた任務である。また、全体的な経営面においては近隣自治体の利用者によるところも大きいと認識している。

借家の方の不公平感は意見として伺うが、できるだけ公平にということは、基本的に議会18人はみんな同じ気持ちである。しかし、完全に公平にということは難しい課題である。

◆開業医の誘致について

問 開業医の誘致状況はどうなっているのか。

答 議会でも質問し、市に対し積極的な誘致を促している。これまで1件の問い合わせがあったと聞いているが実現には至っていない。

◆市内の住宅事情などについて

問 建て替えを進めている北斗団地は埋まる予定なのか。高齢者が入るにしても街から離れていて立地条件が悪い。また、市内の住宅の家賃が高くて年金生活者の入居は難しい。コンパクトなまちづくりをすすめ、温浴施設や高齢者が集える場所なども含め、安心して定住できる環境づくりに期待したい。

答 北斗団地は埋まると推測しているが、市の計画では人口減少に考慮し徐々に市営住宅戸数を減らしていくこととしている状況。温浴施設については、何度か一般質問をしている。現在の状況は、日の出湯1軒のみで市内に新たな銭湯の計画はあったが、半径500m以内の新設は認められないなどの制限もあり、断念をした経過がある。日進の温浴施設の改修計画では、今年度に基本設計、来年度に実施設計の予定となっている。民間で、サービス付き高齢者住宅「MOMO」が開設された。今後の計画では、老人ホーム等、受け皿を国の補助を受けて設置する計画となっている。

◆北国博物館について

問 北国博物館の利用について、小・中学校など学校教育の利用以外、一般客の利用や市外からの来館者はどうなっているのか。

答 毎年約12,000人の利用があるが、行事の開催時で7,400人程度、学校の社会見学や個人で700人程度の利用と聞いている。市内と市外の利用割合は把握していない。

◆水道料金値上げについて

問 水道料金が値上げされるようだが状況は。

答 水道料の値上げについては、現在、審議中。水道料は10年程度据え置いて運営

している。老朽化した水道管改修等、設備投資なども必要であり、水道事業を運営する上で収支の均衡を保つ必要があり値上げの必要が生じている。

◆JR北海道の問題について

問 経営赤字の問題で名寄以北も対象となっているが、今後どうなっていくのか不安である。やはり私達も利用できる、また、利用していく状況を作り出すことが必要。行政と市議会、また市民が一体となって取り組んでいかなければならないことだということを、新聞を見たりしてつくづく思っている。議員さんも努力してもらいたいと思う。

答 地域の課題として関わっていきたい。

◆産業まつりの会場について

問 会場を「健康の森」か「浅江島公園」かで議論があったかと思う。今年は駐車場に配慮がされており幾分利用しやすかったのだが、不便さは変わらない。浅江島なら周辺を含め駐車場の心配がないと思うが。

答 開催場所については検討も含め実行委員会で行われている。議会として回答は難しい。

◆市内の危険個所について

問 柴田時計店の東側に鉄柱が落下したり外壁がはがれている危険な建物がある。点検をするなど対応が必要ではないか。

答 市でも点検をしていると思うが、改めて意見があったことを伝え、再点検を促していく。

◆停電の対応について

問 名寄市内の被害状況や問題点、対応すべきことなどは。

答 行政と商工会議所の調査によると、飲食店や宿泊施設のキャンセルなどを中心に3,500万円ほどの被害が報告されているが、王子マテリアや大手スーパーなど含め把握できていない部分もある。復旧に地区で偏りがあったがこれは北電の対応となってくる。今回の被害を教訓に家庭での対策など情報提供があるといいと思う。

◆排雪について

問 ダンプ・運転手等の人手不足もあるが、年1回の排雪の改善は。排雪の仕方、考え方を換えれば効率的に実施出来るのではないか。

答 現在、2セットで排雪作業を実施している。交差点排雪など直営班でも行っており改善されてきている。

◆レンタル&ゴー事業について

問 保険加入やオペレータ確保、誘導員の用意や安全管理など活用するには難しい面がある。現場の想定をすると課題がいくらでも出てきて使う気になれない

答 ご意見として伺い市に伝える。

B班－1 西12区町内会館 参加13人

◆共同墓地について

問 過疎や少子化でお墓を継ぐ人がいなくなってくる。共同墓地についての見通しは。

答 話しは出るが着手はしていない状況。高齢化が進み独居の方も増えており、お墓の問題はゆっくり待ってられない。宿題として持ち帰って協議する。

◆ハザードマップについて

問 市から配布されたハザードマップが見づらい。色合いもあり浸水想定が分かりづらい。地域別に拡大されていた方が見やすいのではないか。また、DVDなどにして老人クラブとかでも活用できるようにしてはどうか。

答 その通りだと思うので持ち帰らせていただく。

◆ブラックアウト停電について

問 停電時に市広報車の音が全く聞こえなかった。広報車は何台あるのか。各種緊急車両も活用してはどうか。「Airてっし」も活用し生活に関する情報伝達をしてほしい。

答 広報車は2台。スピードを落として広報していたようだが、スピーカーが小さいこともあり十分でなかった。スピーカーの増強などについて市に訴えている。緊急自動車にはそれぞれの役割があり活用は難しいと思う。行政もさまざまな手法で情報提供していたが、十分伝達できたかという疑問。今回の教訓を学び生かすことが重要。

◆高齢地域の対応について

問 民生委員をやっているが、災害が起きた場合、民生委員や町内会役員だけでは緊急の対応はできないと感じており不安だ。日常的な地域の関わりが必要と感じ、社協の協力で交流会をやったが、高齢の人しか集まらずかなりショックだった。どうしていけばいいのか。行政に全て任せるのも無理だと思っている。緊急の場合は何もできない。

答 市職員が地域で行動できる体制をどのように構築するか。地域の力だけでは高齢化もあり難しい。広報による早めの情報提供。災害対策本部による情報収集や的確な指示。排水も含めてどうしていくのか。これまでの経験を踏まえて作っていかないとならない。繰り返し自主防災の意識を持つことも大切。行政側の体制づくりも重要だが、地域で地域を守るための協力体制が必要。

意 今は70歳過ぎても元気な人が多い。やる気になればできるのかもしれない。お年寄りにも理解できる単純な方法での情報発信が必要。例えば避難が必要な時には拠点に赤旗を立てるとか…。

◆歩道上の駐車について

問 通学路の歩道に夏冬関係なく駐車する方がいる。直接注意しても口論となり何度話しても改善されない。行政と警察が連携して対処できないか。

答 歩道の車については除排雪の担当者が警察に連絡すれば対応できる体制になっている。町内会長から警察や役所に相談するといいいのではないか。

◆市立図書館について

問 視察で図書館を見ていると思うが、名寄の図書館は老朽化している。札幌は芸術文化会館の下が図書館。名寄の場合はどうなのか。

答 総務文教常任委員会で名寄らしい図書館像はどうあるべきかを検討している。建て替える場合は、複合的な施設にすべきではと考えている。視察で見ている図書館は従来の図書館のイメージとは全く違い、これが図書館なのかと思えるような施設が多い。視察先からは、「無料貸本屋ではない」「貸出冊数が多ければいいとは思っていない」という話があり、先進的な図書館は地域コミュニティの場として活用されている。建て替えるにしても明確に図書館の役割をアプローチしていかなければ理解されないと感じている。委員会として12月までに方向性を出したい。

◆排雪ダンプ助成について

問 排雪ダンプの料金4千円は高いのではないかと。業者によって積む量も違っている。

答 昨年は雪が多く、排雪ダンプの補助は約8千台で、除雪費用も5億を越している。意見は常任委員会などで反映する。

B班－2 麻生福祉センター 参加6人

◆議員の長期欠席について

問 長期に議会を欠席している議員がいるようだが、議会運営に支障はないのか。

答 2期前ぐらいから、病気やケガによる長期欠席がでてきた。現在は旧風連時代の条例を参考に長期欠席した場合に報酬が減額となる条例を施行している。病気で1年間本会議に出席できなかった議員がこの条例により50%の報酬カットとなった例がある。現在病気療養中の議員は可能な限り出席している状況にあるが、完全な活動には至っていない。各委員会も最低限6人必要だという認識で運営しており支障がないとは言えない。

◆市議会の役割について

問 議会がもっと市政をリードしていくべき。総合計画のなかで議会の果たす役割はもっとあるのではないかと。ここ何回かは無投票。今の市議会はぬるま湯に浸かっているのではないかと。市民に熱意が伝わってこない。

答 総合計画については、議会基本条例で議決事項になっており、12月の議会でも中期計画をしっかりと議論していかなければならない。定数に関しては議会でも相当議論してきた。市全体で400億の予算を協議するには、最低3つの委員会を6人体制で運営すべきと考え18人と判断してきた。近頃選挙がなく本当にこれでいいのかという議論になるが、選挙にならないのは何故か。魅力がなくなったのか。統一地方選挙の4月に選挙となるが、農作業の最盛期であり時期をずらすべきとの声もでてくる。徳田地区への大型店進出時や短大の4大化の時のような、市民の関心を集める議論もない状況。ご意見は議会全体への指摘として受け止めさせていただく。

問 市民から関心が得られないのはなぜか。

答 市民生活に密着していないからだと思う。名寄は高齢化が進んでいる。一人になっても安心して暮らすことのできる施策展開が必要。公共事業も必要だが違うこ

ともあるのではないか。

◆議会のあり方について

問 議会は理事者側の追認機関ではない。議会だよりも見ているが、議案がほとんど可決で、賛否の状況もわからない。

答 採決で賛否が分かれた場合は議会だよりで内容を公表している。

問 ほぼ可決している。それで活発な議会なのか疑問。議員の成り手がいない。無投票が続いている。どのように議会改革すべきなのか議会としての考えは。

答 難しい課題。報酬や定数を変えることが必要なのか、議会議論の活性化が必要なのか答えは出ない。地域的には道議も市長も無投票となっている。政局的なぶつかりも少なくなっている状況。

◆名寄の経済について

問 名寄の経済は今のままでは厳しい。名寄は農業が第1ではあるが、道北の中心として教育と福祉を充実させることで人が集まってくるのではないか。名寄市立大学卒業生の地元就職は少ないが、教育と福祉と病院で名寄を盛り上げるべき。

答 名寄市立大学生の国家試験合格率は看護師、管理栄養士は100%。社会福祉士も高い合格率。レベルが高い。卒業生の頑張りでも道内での名寄市立大学のステータスは高まっている。高齢化社会でも安心して暮らせる名寄にしなければならない。

B班－3 仲町集会所 参加12人

◆空き家対策について

問 町内会の中に老朽化した空き店舗があり、歩行者に被害が及ぶレベルの歩道への落雪や、鉄板の飛散などが発生している。通学路の歩道に面していて非常に危険。今年何も対策がされないなら歩道の通行止めも必要となる切迫した状況。

答 名寄市内には危険家屋が多い。個人財産なので解体などに関しては本人が責任を持つべきだが、市民に被害が及ぶようであれば被害の防止対策も含め早急に何らかの対応が必要。議会でも市民福祉常任委員会で空き家対策をしっかりと申し入れてはいるが、緊急的な課題として市長に対して訴えることもできる。議会としても空き家対策には注目している。

問 町内会からは2年前から訴えていて警察、消防、開発建設部も動いている。総合計画でも支援することとなっている。議会側でも何とか目を向けながら、現実的な対応について議論を深めて欲しい。住宅改修の補助を解体に振り向けるなど財政的な支援も必要な時期ではないか。

答 国のルールも含めた基準を設ける必要があり時間がかかっている。名寄市独自のルールに国や道のルールを上乗せしていくような形ができるのかも含め課題として持ち帰りたい。

◆観光資源への投資について

問 合併特例基金が12億も残っているようだが、これを積極的に風連地区に投資してほしい。名寄市の玄関とも言える道の駅をもっと魅力のある施設にすべき。観光振興には魅力ある拠点が必要。名寄地区でもいいので魅力ある観光拠点づくり

を市民と一緒に考えていけないか。知恵を出し合って名寄地区に来たいと思わせる観光施設を作っていたらどうか。

答 合併以降、合併特例債を活用した事業展開をしているが将来的には借金である。これから学校改修も必要となる見通しであり大きな投資が控えている。思いは十分わかるが風連だけに特化というのは難しい。現在の財政状況を考えると余裕はない状況ではあるが、議会としても有効な提言はしていきたい。

◆望湖台に関して

問 望湖台自然公園には句碑があるが、管理がされておらず草で埋もれてしまっている。どこか別の場所でもいいので道を歩きながら見ることができるよう生かし方ができないか。「白樺まつり」の直前に経費をかけて草刈りなどされるが、もう少し早い時期に整備すれば人が来る。奥にはスズランとかもあるし、遊歩道もある。

答 過去の経過などが分からないが、句碑には多くの費用も掛かっているはず。関わってきた方の思いを大切に議論展開をすべきだと思う。望湖台エリアをどうするのかも課題。

◆各地域のイベント日程について

問 文化祭などを含め地域間でイベントが重なることが多い。調整できないか。

答 近隣自治体のイベントも重なることがある。各地区でのイベント計画などを共有できる掲示板などがあるといいのかもしれない。

◆ゴミの収集方法について

問 ゴミの収集方法に風連と名寄で違いがある。個別収集の場合は一部でカラスに荒らされ飛散している状況もある。将来的にはステーション方式が望ましいのではないか。効率もよくなり費用対効果も上がるはず。

答 合併当時は議会でも質問が出ていた。それぞれの特徴と歴史的経過があるため難しい課題だと認識している。

C班－1 総合福祉センター 参加3人

◆意見交換会の開催時期等について

問 参加者が少ない。開催時期や時間帯など工夫してみてもどうか。テーマを決めて具体的な議論をすとか。開催の告知も大切。

答 貴重な意見として受け止め検討させていただく。

◆日進地区再整備基本構想について

問 日進地区再整備基本構想とはどういうものなのか。カーリング場のフルシーズン化を望む声も聞くが、そういうことも含む計画なのか。

答 日進地区に今ある施設や新たな施設を含めて見直しを行い、市内経済の活性化につなげていこうとするもの。サンピラー温泉、ジャンプ台、カーリング場などのつながりを見直し、市民の利用促進や合宿等の誘致にどうつなげていくのかを経済建設常任委員会でも調査研究を行っている。カーリング場の通年化には膨大な維持費がかかるため慎重な対応が必要。

◆市立図書館について

問 市立図書館の老朽化が著しい。建て替えの必要性があると思うが現状は。

答 総務文教常任委員会において、名寄市における新しい図書館の望ましい姿をテーマに調査研究を行っている。内容は報告書としてまとめ、行政側にも提案し今後の検討材料としてもらうようにしたい。具体的な計画については今後の議論になる。

◆広報のあり方等について

問 高齢化に伴い回覧板がスムーズに回っていない状況があるがどのように捉えているか。広報のあり方を考える時期にきているのではないか。また、広報と同時配布のチラシ等が多く読まない人も多い。必要な情報を的確に伝える工夫が必要では。

答 同様の事例が他の町内会でも表れている。地域や町内会の中での日常の関わりが今後一層重要になってきていると認識している。配布物については、高齢化の進行も含めた中で市民への情報提供のあり方を考える時期にきていると思う。意見として受け止めさせて頂く

◆町内会について

意 少子高齢化に伴い、子供会がなくなる町内会が増え役員の高齢化がどんどん進行している。町内会の再編を含めて検討する必要があるし、名寄市民全体の絆をどう強めていくかが大切な課題だと思う。

答 貴重な意見として受け止めさせて頂く。

◆名寄高校前駅について

問 東風連駅を移動して名寄高校前駅を作るという話があるようだが、具体的には。

答 現状具体的には進んでいない。今後JRや地域、学校等との協議が開始され進んでいくものと認識している。

C班－2 徳田区福祉会館 参加9人

◆道路、河川等の管理について

意 徳田地区の17線と18線の間には2号線道路というのがあるが、近年住宅の新築が増加しており、もう一本東側に幹線道路を新設してほしい。将来を見据え計画的に進めてほしい。また、18線道路が大型ダンプなどの通行が多い影響で非常に傷んでいる。重量制限や速度制限をするなどして対応してほしい。

答 貴重な意見として受け止めさせて頂く。

問 19線の防塵の施工が非常に悪く、雨が降るとほとんど流れてしまう。施工方法に問題はないのか。また施工時期も非常に遅い。

答 道路については他にも同様の意見があった。再度確認をさせてもらう。

問 豊栄川の柳の木や雑草がひどい。管理はどうなっているのか。

答 豊栄川は北海道の管理なので市から北海道に要望していると思う。再度確認し改めて要請するように伝える。

問 道道538号線王子マテリアの入口南側の街灯が消えたままになっている。

3年ほど前に省エネ対策で消したと認識しているが、暗いので何とかして欲しい。

答 道の管轄になるが、確認して回答する。

◆墓地の管理について

問 砺波のほうの墓地はきちんと管理されているが、緑丘のほうは管理が行き届いていない。自分の墓の近くに大木があり支障となっているので処理してほしい。

答 墓地の全般的な管理は市だが、個人所有地の木などは市が関与できない場合もある。状況の確認を含め対応する。

◆JR名寄高校前駅について

問 JR名寄高校前駅の新設の現状は。JR側としては難しい課題と聞いているが、高校前への移設には賛成。

答 具体的なことはまだ何も決まっていない。市長の会見時に検討したい旨の発言があったという段階と認識している。今後、地域住民、JR、学校等と協議していくこととなるのではないかと。

◆民有地からの排水について

問 民有地からの排水（ヘドロのような）で困っている。このような事案をどこに相談すれば良いのか。

答 管轄を確認するとともに、行政がどこまで指導できるのか確認する。

◆福祉施策について

問 保健センターで実施されているリハビリが来年2月で廃止されるとのことだが、どのような理由と経緯だったのか詳しい説明がない。行政の対応として不十分だと思う。

答 周知や経緯など詳細について確認の上お伝えしたい。

◆市立図書館について

問 市立図書館建て替えの展望は。

答 現状では総合計画の個別計画での位置づけになっていないため、時期は見えていない。現在総務文教常任委員会において、名寄市における新しい図書館の望ましい姿についてをテーマに調査研究を行っており、報告書としまとめた上で行政側に示すことを考えている。今後、他の公共施設を含め位置づけが議論されていくものと思う。

◆除排雪について

問 18線道路とか2号線道路は冬期間特に道路幅が狭くなる。排雪予算を増やしてほしい。

答 要望として承る。

◆空き家対策について

問 冬期間の雪の重みで倒壊した空き家があり、環境的にも好ましくない。行政としての空き家対策はどうなっているのか。

答 市内の空き家の調査を行ったところ330件の空き家があり、そのうち適正

に管理されていないものが54%ということである。所有者に連絡するなどして適正な管理を求めているが、あくまでも個人の財産であり対応に苦慮しているところである。

◆消火栓の移設について

問 徳田区福祉会館前の消火栓の移設を町内会から要望しているが状況は。

答 状況を確認する。

C班－3 砺波会館 参加6人

◆河川等の管理について

問 大雨の際に砺波川の築堤が低く水が溢れる。市に要望し雑木処理もしたが築堤を上げないと根本的に解決しない。また有利里川も柳の木で流れが悪くなり増水の原因となっている。北海道に要望してほしい。

答 砺波川の件は要望として市に伝える。有利里川は北海道に対し、市から対応を要請するよう伝える。

問 河川の増水時の排水ポンプの管理、稼働が地域に任されているが、高齢化で対応が難しくなっている。行政で対応できないか。

答 要望として承り、対応が可能かどうか確認する。

◆道路の維持管理について

問 高規格道路の影響で交通量と大型車両の通行が増加し、砺波の国道40号の交差点から南側の市道の状況が悪くなっている。もともと道幅が狭い上に路盤が下がった。何年か前に200m程盛った後は何もされていない。以前にも市に要望しているが改めて対応をお願いしたい。

答 状況を含め所管部署に確認し、要望として伝える。

◆保育所について

問 砺波保育所はへき地保育所として町内会で運営しているが、高齢化と戸数減に伴い今後のあり方を考えて行かなければならない時期にきている。行政としてどのように対応できるのか聞きたい。

答 市内、郊外を問わず施設整備も含めて保育所のあり方を改めて考えなければならぬ時期と認識している。今後、地域の意向も含め行政と協議が必要と考える。地域の意見として承る。

問 市内の保育所の待機児童の状況は。

答 入所定員に対する待機児童はいないようだが、保護者の仕事等の関係で希望する所への入所ができないという状況は数件あると聞いている。

◆市庁舎について

問 名寄庁舎は老朽化している。そろそろ新しい1つの庁舎にするべきではないか。特に農業関係者にとっては風連まで行くのは不便。

答 現段階で具体的な計画はない。今後、公共施設の管理計画や他の施設との兼ね合いを含め議論されていくものと思う。

◆町内会について

問 農村地区の町内会は、人口減・戸数減に伴い活動の継続が限界に近づいてきていると感じる。町内会の統合を含めた再編を検討する時期を迎えていると思うが見解は。

答 町内会の現状については十分理解する。ただ、行政側から再編等の提案をすることは難しいと考える。まずは地域の主体性が重要。そのうえで行政から助言等も含めたサポートを受け進めていくべきではないか。

◆ゴミのポイ捨てについて

問 東5号線や東6号線沿いのゴミのポイ捨てがひどい。看板等の設置など対策が必要では。また防犯灯を増やすことで抑止できるのでは。

答 現状は理解した。対策が可能かを含め関係部署に伝える。

◆議員定数・報酬について

問 無投票で議員になるのはどうなのか。市民も選挙を行って議員を選びたいという思いを持っている。

答 次期改選時の議員定数は現状の18名と決定させて頂いたのでご理解いただきたい。我々も選挙が必要との認識はもっているが、定数削減が直接選挙につながるかという因果関係はわからない。なり手不足解消には何が必要なのかを考えて行かなければならないと思っている。

問 議員のなり手を増やすために定数を削減し、その分報酬を上げることも必要では。

答 特に若い世代のなり手が少ない背景には報酬額の問題も一つの要素であると認識している。ご意見として受け止め今後の議員報酬のあり方の参考とさせていただく。

◆防災対策等について

問 ハザードマップで、砺波地区の洪水時の避難方向が砺波ヶ丘方向になっているが、砺波ヶ丘周辺は土砂災害危険箇所である。実態に即していないのではないか。

答 詳細について確認する。

問 先般の停電に関連し、他の自治体で発電機に対する助成制度を設けたという話を聞いた。名寄市でも実施すべきでは。特に酪農家にとっては死活問題である。

答 要望として承る。

D班－1 南5区町内会館 参加8人

◆市営住宅の建設および改修について

問 北斗団地の建て替えが行われているが、次年度以降さらに建て増すのか。また、市営住宅の補修の状況は。

答 入居の需要が少なくなっていることもあり、現在建設中の北斗団地で終了の予定である。今後は建て替えよりも改修にシフトすると思う。補修については、出来る限り早く修繕を行い入居してもらおう体制を取っているが、退去後の新たな入居時には、元の状態に直して貸し出すので、傷み具合によっては時間がかかる場合もある。

◆自衛隊の官舎について

問 市有地に自衛隊官舎を建設する新聞記事を見たが、現在の状況は。

答 先方からの打診に対し、市も前向きに受け止めているとのことだが、その後の進捗状況は確認できていない。

◆市内高校の統廃合について

問 市長から高校の統廃合の話が出ていた記憶がある。新聞報道などを見ても道教委よりも先にビジョンを示すべきとのニュアンスと受け止めているが、議会としての考えは。

答 議会側には特段の相談はなく、所管の委員会でも具体的な話は出ていないが、心配な話題である。遠くない時期に動きが出てくるのではないか。

問 名寄近郊から旭川に通学する学生が多くいる。子どもたちを市外へ出さないための対策が必要であり、高校だけでなく市や議会も危機感を持つべきではないか。

答 重要な課題として議会としても受け止める。

◆周辺自治体の連携について

問 周辺自治体が連携し企業誘致などを含めた事業実施をすべき。

答 行政運営は個々に行っているが、内容によっては周辺自治体で連携した事業が行われている。観光などは稚内なども含め広域で連携している。

◆自衛隊駐屯地への給水について

問 自衛隊駐屯地へ市から給水する話が出てから20年ほど経過している。なぜ遅れているのか。

答 当初は市の供給能力の問題があったと思うが、防衛省の予算確保などの課題もあり時間がかかっていたと推察する。現在はサンルダム建設の効果もあり具体的な給水に向け準備が進められている状況。

◆商店街の活性化について

問 商店街がどんどんシャッター街となっている。若い人の起業とか、新規出店などに対しもう少し手厚く補助などが出来ないか。

答 新規出店や店舗改修に対しては名寄市中小企業振興条例の中で、様々なメニューが用意されており、商工会議所や金融機関とも連携しながら支援している。他の自治体と比較しても充実した支援制度であるが、見直しが必要な部分もある。

◆通学路の除排雪について

問 豊西小学校の閉校にともない、南小学校へ通う子どもの通学路及び歩道の除排雪をしっかりと行ってほしい。特に南5区周辺から南小学校への通学路は複雑で、真っすぐに行ける通学路は昭和通（東8号）しかなく、交差点の除排雪対応をお願いしたい。

答 除排雪に関しては市民からの要望も多く、経済建設常任委員会でテーマとして取り上げてきた。昨年からは名寄の除排雪体制は変わってきており、通常の業者委託の除排雪と併せ、状況に応じて市直営班の対応もされており大幅に改善されている。通学路の除排雪は、教育委員会とも連携し検証していきたい。

◆融雪溝について

問 錦町通りでは、融雪溝を住民の協力体制で利活用している。活用以降原則として排雪はしておらず、残っている雪も五十嵐組が地域貢献事業として年2回無償で排雪してくれている。住民の協力で道路幅員が確保できる融雪溝をもっと増やすべきではないか。

答 融雪溝に関しては、意見として受け止める。

◆市庁舎について

問 市役所の分庁方式はいつまで続くのか。また市民から不便さに関する苦情は出ていないのか。以前に名寄庁舎に電話をしたら、その窓口は風連庁舎であり、かけなおしてほしいと言われた事がある。

答 庁舎の具体的な計画は示されていない。分庁方式は合併時の約束事でもあるが、現在協議中の立地適正化計画などで検討される可能性はある。電話対応については、内線で転送できるはずであり、指摘いただいて構わないし、意見として受け止める。

◆市立病院の駐車場について

問 駐車場が不足している。特に冬場は住宅街への駐車が多くなる。2階建てなど検討する必要があるのでは。

答 休日明けは患者さんが多く、不足状況にあると聞いている。新たな設備投資をした場合は有料化となることも考えられ、逆に路上駐車が増えることも想定される。慎重な検討が必要な課題と認識している。

◆宗谷本線の取り組みについて

問 宗谷線の問題について議会で審議はしているのか。また、杉並区などで行う物産販売時に宗谷線沿線のPRを展開しては。宗谷本線がなくなると、人もいなくなり、美味しい農産物や牛乳が生産出来なくなることもPRしては。

答 市長が宗谷線活性化推進協議会の会長を務めていることもあり、議会の一般質問では議論状況の確認や意見反映などを議員個々で行っている。PRに関しては意見として受け止める。

◆高速道路について

問 高速道路の工事がなかなか進まないが、個人的には高速道路ではなく、国道の2車線化がいいと思う。なぜならば、そのほうが地元業者も工事が受注でき、道の駅も活性化すると思う。また、智恵文の降り口の要望はどうなっているのか。

答 道の駅への影響はあると思う。今後は19線付近へのパーキングなどの要望になってくると思われる。智恵文の件は具体的な情報を得ていない。

◆市立総合病院の病院食について

問 視察報告の内容は理解できるが、その具体的な対応は。また、市立総合病院の入院患者は、味付けとか種類に関してあまり良い評価をしていないが、視察を含めてどのような対応を行うのか。

答 視察先の病院食は治療の一環であり、食材の工夫などを含め治療食として効果が出ているとのことでした。すぐに結果が出るものではないが、病院食の改善につながるよう、市民福祉常任委員会として、視察の報告なども含め病院職員との協議を行っている。

D班－2 新大橋町内会館 参加19人

◆側溝の蓋について

問 道路側溝に以前は蓋があったが今はない。危険なので以前のように側溝に蓋をできないか。

答 経過や状況が分からないので市の所管部署と調整し確認させて頂く。

◆間口の除雪について

問 高齢者宅の間口除雪について、所得の関係で市の制度の対象とならない方がいる。もっと高齢者に対する制度を拡充して欲しい。

答 何度か制度を見直しており、その都度、所得や対象者の関係について見直しがされている。今後も制度の検討がされるものと思う。経済建設常任委員会では除雪全般をテーマに協議を進めてきており市に対し要望なども出している。今後も制度のことも含め話を続けて行きたいと思う。

◆市役所の駐車場について

問 市役所の駐車場の白線を明瞭にしてほしい。また、冬期間は早めの除排雪で駐車場を確保して欲しい。

答 行政側に伝えていく。

◆除排雪について

問 市に電話し現場確認のうえ対応をしてもらったが、周りにも同様に困っている人がいる。除排雪は市全体の問題。市議会でも実態を把握するべきではないか。

答 除排雪については、経済建設常任委員会で、町内会長との意見交換なども含め、市民の声も反映させながら集中的に協議検討し、市民生活の安定のために除排雪を変えて行かなければいけないとの視点で意見をまとめてきた。実際に昨年度から交差点排雪なども増え変わってきたと感じている。今後も少しでも改善されるよう検討していく。

問 交差点排雪をしても、周辺の市民が雪を出すことで狭くなってしまふ。市民の意識改善も必要ではないか。また、通学路の対応も十分行ってほしい。

答 ここ何年かは行政でも全戸配布のチラシで除雪に関する協力やマナーについて意識啓発を行っている。すぐに変わるものではないが、温かい目で見え、時には厳しく言うて頂くことも必要かと思う。また、役所で組織している直営班も活躍している。小型のロータリーなどの設備も確保し状況が改善して来ているので、今シーズンの対応についても要望していく。

問 除排雪に関し、国や道と連携はとれているのか。特に通学路の除雪のタイミングなど。

答 除雪自体は基本的に単独で行っている。通学路除雪の連携については今後確認をしたい。

◆災害対策について

問 洪水ハザードマップが配布されたが、配布するだけでなく、細かな説明なども行い、いつ起こるか分からない災害への備えが必要ではないか。

- 答 全てではないが、各町内会の防災組織を設置しているところに行政側の担当者が出向き、指導や説明および議論を行っているほか、全市的な防災訓練も行っている。伺ったご意見については伝えていきたい。
- 意 災害対応は自助も必要。安全を他人任せにせず、自分で考えて自分で行動すること、自分の命は自分で守るという意識も大切だと思う。

◆町内会の加入について

- 問 集合住宅入居者の町内会未加入について、何か手立てはないのか、特に大学生が町内会に関わりを持ってくれるといいのだが。
- 答 集合住宅入居者を中心とした町内会加入に苦慮している実態を耳にすることが多くなっている。対策として市の取り組みも必要だが、何かを契機に町内会が主体的に加入促進に取り組むことが必要だと感じる。大学生に限定はできないが、今後の対策について議論が必要だと認識している。

◆各会場の内容周知は

- 問 各会場の意見をまとめたものはどの様に市民周知されるのか。
- 答 議会だより「増刊号」にて、各会場での意見交換内容の要点並びに市長へ見解を求めた内容について周知するほか。名寄市議会ホームページにも実施報告を掲載する。

D班－3 風連日進コミュニティセンター 参加13人

◆取り付け道路の改修について

- 問 春先の融雪水で取り付け道路が流された。補修を市に要請したところ、取り付け道路は個人の所有のため補修できないと言われた。また、以前のゲリラ豪雨で独居老人宅の取り付け道路とアスファルト道路の付け根部分に穴があいた時も同じ対応だった。何とかならないものか。
- 答 基本的に破損部分の所有者が管理することになると思われるが、正確な対応について確認させていただきたい。また、要望があったことは市に伝える。

◆旧日進小中学校の管理等について

- 問 旧日進小中学校のプールやや自転車小屋の保存状況悪化に伴い、地域から廃材の利用を望む声が出ています。市からは、公有財産の処分をする場合、公に周知するなどの手続きが必要とのことだった。公売などの実施を待っているが一向に行われず。状況は。
- 答 改善が必要な施設や周辺環境整備などの管理運営の状況について市に確認していく。

◆名寄高校前駅について

- 問 名寄高校前に駅を移設するという話があるが経過は。また、宗谷本線の存続に向け、高額な負担を求められているとのことだが内容は。
- 答 高校前まで駅を持っていくことで利便性を高めようという提案だと思う。JRとの協議事項と認識しており具体的な話は伺っていない。

◆老朽化した公共施設の管理等について

問 老朽化した公共施設を整備するにあたっての計画や財政展望は。

答 市は公共施設等総合管理計画を策定し、公共施設の13%縮減を目標値に公共施設等の更新・統廃合・長寿命化などを計画的かつ効率的に実施するとしている。また、立地適正化計画も含め公共施設の今後を検討している状況にある。

◆公営住宅の入居について

問 離農後に市街地の公営住宅に入居したくてもなかなか入居できない状況がある。予算も関わることは思うが、定住対策を含めて退去後の改修や修繕を優先的に進め入居を促進すべきではないか。

答 退去後の補修の規模などにより、再入居に時間を要するケースがある。できるだけ早く修繕し多くの市民に利用いただけるよう話をしているが、元の状態に復元をしてからの入居が原則であり理解願う。

◆水道施設について

問 御料9線に水道施設があるが、農排水としても使っていて蓋をしてほしいと要請したところ、改良区の施設であると言われた。また、近くの人でポンプアップしている人もいるがいつまで続けて行けばいいのか。もっと奥の高いところに水道施設があると全体に行き渡るし防火用水としても使える。今後の考えは。

答 市に内容を確認させていただきお伝えしたい。

◆風連別川の防災対策について

問 風連別川は豪雨により上流で被害が出ている。防災の観点から砂防ダム的な仕組みを国や道と連携し検討できないか。

答 議会でも実態を把握させてもらった中でこの先について確認したい。

◆高齢者の運転免許返納について

問 高齢者の免許返納に対し、タクシー助成などの対応が必要ではないか。

答 議会でも何らかの福祉的な施策が必要と訴えてきているが、もともと免許を所持していない市民との公平性などから、具体的対応には至っていない。

◆高齢者宅の除雪について

問 高齢者宅の除雪助成について、所得などで判断し非対象とするのではなく、実態を把握したうえで対応すべきではないか。

答 市の除雪サービス事業は、低所得で虚弱な高齢者を対象とし、厳しい生活環境のある方を優先した制度としている。制度の内容が理解できるような説明も必要。

◆風連庁舎の社協窓口について

問 2年ほど前に、風連の社協役員を削減した経緯がある。また、経費の面等を理由に風連の社協窓口をなくすという話が以前出たが反対し現在に至っている。なくなると困る。

答 議会として直接は介入できない課題であるが、意見として市に伝える。

◆後期高齢者医療保険制度について

問 75歳になって後期高齢者医療の保険料が徴収されるようになった。この保険料はどのように決められるのか。

答 後期高齢者医療保険料は、北海道後期高齢者医療広域連合で決められている。

◆介護保険料について

問 保険料などは議会で決まるのか。

答 議会で審議する前に、介護保険制度について協議するために市が設置している協議会があり、そこで内容が検討される。そこから市長に対し答申が出され、議会で審議し決定となる。

◆給食費の滞納について

問 以前、学校給食費の未納が多く大きな問題になっていたが、現状は。

答 以前ほどの滞納はなく減ってきている。

平成30年度「市民との意見交換会」アンケート結果

ご回答いただきましたアンケートの集約結果は次のとおりです。また、ご回答いただいた市民の皆様は86人で、回答率は76.1%となっています。

※（ ）の数字は回答者数です。

問1 あなたの年齢は？

- ①20代（0人） ②30代（0人） ③40代（1人） ④50代（6人）
⑤60代（30人） ⑥70代以上（49人） 未回答（27人）

問2 あなたの性別は？

- 男（75人） 女（11人） 未回答（27人）

問3 今回を含め、これまでに『市民との意見交換会』及び『議会報告会』に何回出席したことがありますか？

- ①1回（43人） ②2回（11人） ③3回（7人） ④4回（5人）
⑤5回以上（12人） 未回答（35人）

問4 今回の『市民との意見交換会』の内容はどうでしたか？

※全体的に⇒①よかった（40人） ②ふつう（29人） ③よくなかった（1人）
未回答（43人）

※報告内容⇒①わかりやすかった（24人） ②ふつう（40人）
③わかりづらかった（1人） 未回答（48人）

※意見交換内容⇒①よかった（35人） ②ふつう（29人） ③よくなかった（0人）
未回答（49人）

※今後改善すべきことがあればお書きください。

- ・今後も開いてほしい。（2件）
- ・停電時の対応に関し、もう少し対策を考えての回答がほしかった。
- ・市議会が市民に理解出来るようなPRが必要。
- ・内容的に市民が集まれるよう対策があると思う。
- ・一人で質問して他の人が質問出来ないところがあった。
- ・議員側より参加者（全地域）に問いたいことを提案出来ないか。（市民が特に興味を持っていると思う事項）
- ・質問者の不満ばかりが多く出された。前向きな意見がほしい。
- ・質問者が本人の基準で質問しては駄目だと感じた。
- ・報告を全て読んでいた。要点のみの報告でいいのでは。
- ・議員の人数をもっと多くしたらよい。
- ・土日開催もいいと思う。
- ・意見、要望が速やかに達成されればよい。
- ・市民の貴重な意見の数々を汲み取って議会に繁栄してほしい。

問5 議会だよりはお読みになりますか？

- ①毎回読んでいる（52人） ②たまに読んでいる（30人） ③読まない（1人）
未回答（30人）

問6 議会ホームページはご覧になりますか？

- ①よく見ている（６人） ②たまに見ている（３３人） ③まったく見ない（３７人）
④見方がわからない（０人） ⑤見る手段がない（１人） 未回答（３６人）

問 7 議会中継（同時中継、録画中継を含め）はご覧になったことがありますか？

- ①よく見ている（７人） ②たまに見ている（２０人） ③まったく見ない（４６人）
④見方がわからない（０人） ⑤見る手段がない（１人） 未回答（３９人）

問 8 議会を傍聴したことがありますか？

- ① 傍聴したことがある（３４人）（平均３．８回程度）
② 傍聴したことがない（４８人） 未回答（３１人）

問 9 議会に対してご意見等があれば、自由にお書きください。

- ・新しい議員の顔がわからない。
- ・今のままでよい。
- ・頑張っていると思う。
- ・議会の傍聴を市民の人達にもっと見てほしい。
- ・高校生の議会見学を盛り込む事が出来ないか。
- ・市民がいつも行けるような議会にしてほしい。
- ・市の執行をしっかりチェックしてほしい。
- ・市議との交流がほとんどないので、意見交換会は良かったと思う。（２件）
- ・市議は市民と市との“懸け橋”的な存在なので、今後も市民の声を聞いてほしい。
- ・質問通告の各項目について具体的に聞きたいことをもう少し細かく記載出来ないか。議員が何を目的として質問したいのか通告だけでは意味が理解出来ない。
- ・もっともっと行政に入り込んで、反対の意見があっても市民のためになると思うものは改善してほしい。選挙が近づく時こそ相反する努力にも大きな心でいける、全てに開拓精神で頑張してほしい。
- ・意見交換会の意見の内容に対して、これという回答はないまでも参考になる回答があった。参加してよかった。
- ・質問の意図がわからない議員さんの質問が見受けられる。聞いてどうするのか聞きっぱなしを一般質問とするのはどうなのか疑問である。
- ・一度傍聴に行ってみたい。
- ・市議は市民より選出されていることを肝に銘じて、真に市民の意見に耳を傾けて積極的に取り組んでほしい。
- ・市民に対して公平公正の行政が推し進められるよう議員の働きを期待している。
- ・人口減は避けられない現状から、コンパクトなまちづくりに努めてほしい。

《行政に対する意見》

- ・節電に対して、暗い所を考え直してほしい。
- ・もっともっと防犯カメラを重要ポイントに設置してほしい。
- ・停電、水害等DVDを各町内会に配布をお願いする。
- ・空家対策に取り組んでほしい。
- ・除排雪の問題で交差点、車道の雪の高さを何とかしてほしい。
- ・税金を払っている分ちゃんと形として戻ってくるよう、公平公正な使い方をするようにしてもらいたい。
- ・高齢者に対し市の病院の医師は冷たい。